

<<<今号の目次>>>

1. コラム

「ありがたい、暮らしやすい社会に近づくために効果的な手法」

2. 最新情報

《地方公共団体等の動き》 10件

■□■1. コラム



「ありがたい、暮らしやすい社会に近づくために効果的な手法」

この冬に起こった新型コロナウイルスの影響で、テレワークが注目を集めています。感染が怖いので通勤できない時や、年度末・年度始めでなかなか休めない時に、テレワークの1つの区分である在宅勤務が有効だからです。

在宅勤務だけでなく、自分の本拠地から離れて働くモバイル勤務、サテライトオフィス勤務、コワーキングスペース利用もテレワークの区分です。定義は「情報通信技術を活用した、場所や時間を有効に活用できる柔軟な働き方」となります。

政府はテレワーク推進のために様々な施策を展開し、その中でも、毎年テレワークデイズを国民運動として推進しています。2020年度は7月20日から9月6日までが実施期間となり、2019年度は2,887団体、約68万人が参加し、23区への通勤者数が9.2%、残業時間が45%、事務用紙等が38%も減りました。

テレワーク導入による企業のメリットは、人材の流出防止や優秀な人材の採用、社員の生産性の向上、今回の新型コロナウイルス対策でもあるBCP(事業継続計画)等です。従業員にとっても育児・介護等と仕事の両立、ワーク・ライフ・バランスの向上があげられます。育児では第一子出産でやめる女性が半分弱、介護で離職する人も約10万人います。テレワークを導入していれば、仕事重視か生活重視かの二者択一ではなく、在宅勤務等の選択肢が増えるので、プライベートと仕事の両立がやりやすくなります。最近の若者はワーク・ライフ・バランスを重視する傾向があり、制度が整っている企業が人気です。また、これまで働いていない女性、障害のある方、高齢者もテレワークという選択肢があることで仕事を始められます。企業はダイバシティ経営に取り組み、多様な価値観で自由な発想をしやすい環境を作り、その結果、企業力が高まり、優秀な人材が集まるという好循環が生まれる可能性が高くなります。

テレワークを導入するには、労務管理やITの整備、業務の見直しが必要です。是非「テレワーク導入のポイント」をご参照下さい。

https://japan-telework.or.jp/tw_about-2/point/

新型コロナウイルスの影響でテレワークの活用は喫緊の対応が必要となりますが、テレワークには様々な効果がありますので、是非これを機に取り組んでみて下さい。

(一般社団法人日本テレワーク協会 主席研究員 富吉 直美)

■□■ 2. 最新情報 ■□■

《地方公共団体の動き》

【北海道】北広島市

「ワーク・ライフ・バランス推進事業助成金」(2020年4月)

→北広島市内の中小企業等がワーク・ライフ・バランスを推進する取り組みを実施した場合、その事業主に対し、その費用の一部を助成金として交付します。

<https://www.city.kitahiroshima.hokkaido.jp/hotnews/detail/00132549.html>

【岩手県】国立大学法人岩手大学

女性のキャリア形成支援リカレントプログラム 2020 の開催 (2020年4月)

→令和2年5月から11月、県内事業所で働く、将来リーダーとなることが期待される女性を対象に、国立大学法人岩手大学男女共同参画推進室主催「女性のキャリア形成支援リカレントプログラム 2020」を開催します。

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/seishounendanjo/1004930/1028633.html>

【神奈川県】

企業・従業員にとってのテレワーク～優秀な人材確保・退職防止、災害時業務継続対策～
(2020年3月)

→新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、通勤ラッシュや人混みを回避し、住宅での勤務も可能となるテレワークはその有効な対策です。テレワーク導入支援策等、企業・従業員への参考情報をご紹介します。

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/z4r/telework/donyusien.html>

【東京都】

介護と仕事の両立取組企業 (2020年3月)

→介護と仕事の両立取組企業について紹介しています。

<https://www.katei-ryouritsu.metro.tokyo.jp/kaigo/company/index.html>

【愛知県】

「ワーク・ライフ・バランス～充実した人生を過ごすヒントに～」リーフレットを作成(2020年3月)

→愛知県では、働く人や企業経営者等のワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）への理解を促すリーフレットを作成しました。

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/rodofukushi/2020wlb-rihuretto.html>

【奈良県】

「女性活躍推進に関する意識調査（令和元年度）結果公表」（2020年3月）

→令和元年度に実施した「奈良県女性活躍推進に関する意識調査」について、調査結果を取りまとめました。

<http://www.pref.nara.jp/54787.htm>

【奈良県】 生駒市

「生駒市内の企業・団体のみなさまも『イクボス宣言』しませんか？」（2020年4月）

→生駒市内の企業・団体のみなさまで、ワークライフバランス（仕事と生活の両立）を推進するために「イクボス宣言」をしませんか？「イクボス宣言」をされた企業・団体には、イクボス宣言企業として登録させていただき、ホームページ等で公表いたします。

<https://www.city.ikoma.lg.jp/0000020443.html>

【兵庫県】

仕事と生活の調和推進認定企業を更新（2020年4月）

→多様で柔軟な働き方による働きやすい雇用就業環境の創出をもたらす「ワーク・ライフ・バランス」の取組を全県的に推進するため、兵庫県では「ひょうご仕事と生活センター」を核として、政労使三者での取組を行っています。宣言企業・認定企業について順次紹介しています。

https://web.pref.hyogo.lg.jp/sr05/ie10_000000075.html

【福岡県】

九州初、福岡県が庁舎に保育所を開園（2020年4月）

→福岡県庁舎1階に認可型の保育事業所「けんちょう保育園」が開園しました。

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/site/chiji-top/20200401kaizen.html>

【佐賀県】

令和元年度『Let's “ゆとり”！キャンペーン』実施報告（2020年3月）

→佐賀県では、ワーク・ライフ・バランス推進の一環として、年次有給休暇取得促進やノー残業デーなどの労働時間短縮に取り組むことを宣言して実践していただく『Let's “ゆとり”！キャンペーン』を実施しました。このたび、参加事業所を対象にアンケート（回答数115社/137社）を実施し、結果を取りまとめました。今後のワーク・ライフ・バランスの推進の一助としていただければ幸いです。

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00372551/index.html>

【編集後記】

見えない敵との闘いが続いています。「新型コロナウイルス感染拡大防止」を受け、働き方、暮らし、学校の臨時休校、百貨店等の臨時休業等々、私たちが経験したことのない新年度を迎えました。これまでも、ワーク・ライフ・バランスの推進のため、試験的にテレワークを実施してきましたが、昨今の情勢を機にテレワークを拡大し、打ち合わせはメールやオンラインで実施するなど、極力出勤する機会を低減させながらも効果的に働ける取り組みを強化しています。一日も早い収束を願うばかりですが、今出来ること、今だから考えられることを周囲の方々と共有して、よりよい働き方、暮らし方を見つめる機会となればと思います。

このメールは送信専用メールアドレスから配信されております。
このまま御返信いただいてもお答えできませんので御了承ください。

配信中止・配信先変更は、こちらから

<http://wwwa.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/tetsuzuki.html>

バックナンバーはこちらから

<http://wwwa.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/backnumber/index.html>

このメールマガジンへの御意見・御要望はこちらから

<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0086.html>

内閣府「仕事と生活の調和」推進サイトはこちらから

<http://wwwa.cao.go.jp/wlb/>